平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年２月８日

上 場 会 社 名　　エン・ジャパン株式会社　　上場取引所　　大
コ ー ド 番 号　　4849　　URL　http://corp.en-japan.com/
代　　表　　者 (役職名)代表取締役社長　　(氏名)鈴木　孝二
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長　　(氏名)藤野　孝　　(TEL)03(3342)4506

四半期報告書提出予定日　　平成25年２月12日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	10,236	―	2,316	―	2,403	―	1,459	―
24年３月期第３四半期	8,902	34.3	1,680	99.5	1,533	76.4	686	68.1

(注)1.　包括利益　　25年３月期第３四半期　1,738百万円(　－%)　　24年３月期第３四半期　　737百万円(　－%)
2.　当社は、平成24年３月期より決算期を毎年12月31日から毎年３月31日に変更しております。これに伴い、25年３月期第３四半期（４月から12月まで）と、比較対象となる24年３月期第３四半期（１月から９月まで）の月度が異なるため、25年３月期第３四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年３月期第３四半期	6,586　25	6,583　31
24年３月期第３四半期	3,100　75	3,097　10

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	17,653	14,893	84.4
24年３月期	16,084	13,581	84.4

(参考)　自己資本　　25年３月期第３四半期 14,893百万円　　24年３月期 13,581百万円

２．配当の状況

	年間配当金					
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	第４四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年３月期	－　－	－　－	0　00	－　－	1,850　00	1,850　00
25年３月期	－　－	0　00	－　－			
25年３月期(予想)					1,950　00	1,950　00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	13,770	―	2,700	―	2,800	―	1,530	―	6,903　77

(注)1.　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無
2.　24年３月期は、決算期変更により15ヶ月決算となっておりますので、25年３月期の連結業績予想の対前年増減率については記載しておりません。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　－　社（社名）　　、除外　　－　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

(注)第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. ５「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	246,142株	24年３月期	246,118株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	24,500株	24年３月期	24,500株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	221,641株	24年３月期３Ｑ	221,423株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. ４「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……Ｐ．２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……Ｐ．２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……Ｐ．４
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……Ｐ．４
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……Ｐ．５
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……Ｐ．５
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……Ｐ．５
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……Ｐ．５
３．四半期連結財務諸表 ……Ｐ．６
（１）四半期連結貸借対照表 ……Ｐ．６
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……Ｐ．８
（３）継続企業の前提に関する注記 ……Ｐ．10
（４）セグメント情報等 ……Ｐ．10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……Ｐ．10

１．当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度（平成24年３月期）は12月決算から３月決算へ決算期の変更をしたことにより15ヶ月決算となっております。これに伴い、前第３四半期連結累計期間（平成23年１月１日～平成23年９月30日）と当第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年12月31日）とは対象期間が異なっておりますので、前年同四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として企業の生産活動や個人消費が緩やかな回復基調にあったものの、欧州の債務問題や新興国経済の成長鈍化などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

雇用環境については、平成24年12月の有効求人倍率が前月比で改善するなど、持ち直しの動きも見られております。

このような状況の中、当社は主力の「[en]社会人の転職情報」において、成功報酬型求人広告の拡販及び入社者数増加のための施策を強化してまいりました。

また、平成24年12月に正社員就業を希望する女性向け求人情報サイト「[en]ウィメンズワーク」をオープンした他、「[en]転職コンサルタント」、「[en]派遣のお仕事情報」、「[en]チャレンジ！はた☆らく」をリニューアルするなど、商品ラインアップの拡充及びサイトの強化に取組みました。

海外展開においては、平成24年11月に韓国に人材紹介会社「en world Korea Co., Ltd.」を設立し、同年12月より営業を開始いたしました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は10,236百万円、営業利益は2,316百万円、経常利益は2,403百万円、四半期純利益は1,459百万円となりました。

なお、ご参考として下記に前年同期間業績比較を記載しております。

（ご参考）対前年同期間業績比較　（単位：百万円）

	平成24年３月期 第２四半期～第４四半期 （平成23年４月～12月）	平成25年３月期 第３四半期累計 （平成24年４月～12月）	対前年同期間 増減率
売上高	9,459	10,236	8.2%
営業利益	2,081	2,316	11.3%
経常利益	1,986	2,403	20.9%
四半期純利益	1,013	1,459	44.1%

① 中途採用事業

「[en]社会人の転職情報」は、注力している成功報酬型求人広告の売上高を拡大するため、平成24年11月に新商品の販売を開始するなどの施策を実施いたしました。この結果、成功報酬型求人広告の掲載件数及び入社者数は前年同期間を上回ったものの、計画は下回りました。平成24年12月からは更なる新商品を投入し、入社者数の増加及び売上高の拡大に向けた取組みを強化しております。

一方、掲載課金型求人広告は概ね計画通りの掲載件数及び売上高となり、堅調に推移いたしました。

「[en]派遣のお仕事情報」は、サイトリニューアルを実施したことや小規模派遣会社向け新商品の販売が好調であったことなどから、計画を上回る売上高となりました。

「[en]転職コンサルタント」は、顧客のリピート利用が増加したこと、成功報酬型サービスが順調に推移したことなどから、計画を上回る売上高となりました。

「[en]チャレンジ！はた☆らく」は、サイトリニューアルにより、掲載案件数や総応募数が増加するなど、想定通りの効果が得られました。また、引き続き販売系や事務系求人のニーズが高かったことから、計画を上回る売上高となりました。

「[en]ウィメンズワーク」は、主に派遣会社の「正社員または正社員登用あり」の案件のみを掲載するサイトです。平成24年12月10日にオープンし、会員数を順調に伸ばしており、入社実績も既に出ております。引き続き、営業活動やプロモーションを強化し、利用社数及び会員数の増加に努めてまいります。

エンワールド・ジャパン株式会社は、引き続きグローバル企業の人材採用ニーズが高かったこと、新たに採用した人員が戦力化していることに加え、国内成長企業向けの人材紹介ブランド「en premium」が好調であったことから、計画を上回る業績となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は8,811百万円、営業利益は2,127百万円となりました。

② 新卒採用事業

平成26年３月卒業予定学生向けの「[en]学生の就職情報2014」は平成24年12月１日にグランドオープンいたしました。前年度の採用において母集団形成に苦戦した企業が多かったことから、一部の企業でエントリー受付や説明会の開催を早期化する動きが見られました。

このような中、「[en]学生の就職情報2014」はリピート顧客の獲得が進んだこと、新商品の販売が堅調に推移したことなどから前年度に比べ掲載社数及び単価が堅調に推移いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は1,167百万円、営業利益は190百万円となりました。

③ 教育・評価事業

定額制研修サービス「エンカレッジ」は、平成24年４月に新規契約企業数が増加したこと、当第３四半期においても契約企業数が増加したことから、前年同期間を上回る売上高となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は224百万円、営業利益は35百万円となりました。

なお、ご参考として下記に前年同期間セグメント業績比較を記載しております。

（ご参考）前年同期間セグメント業績比較　（単位：百万円）

		平成24年３月期 第２四半期～第４四半期 （平成23年４月～12月）	平成25年３月期 第３四半期累計 （平成24年４月～12月）	対前年同期間 増減率
中途採用事業	売上高	8,172	8,811	7.8%
	営業利益	2,337	2,127	△9.0%
新卒採用事業	売上高	1,011	1,167	15.5%
	営業利益	△59	190	―
教育・評価事業	売上高	189	224	18.1%
	営業利益	△4	35	―

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,569百万円増加し、17,653百万円となりました。これは、現金及び預金が1,860百万円増加したことなどが主な要因であります。

また、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ258百万円増加し、2,760百万円となりました。これは繰延税金負債が125百万円、未払法人税等が82百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,311百万円増加し、14,893百万円となりました。これは、利益剰余金が1,031百万円、その他有価証券評価差額金が269百万円増加したことなどが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成24年11月12日に公表した数値から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,815,613	9,676,336
受取手形及び売掛金	1,303,775	1,602,064
その他	437,300	542,654
貸倒引当金	△6,238	△14,738
流動資産合計	9,550,450	11,806,317
固定資産		
有形固定資産	539,162	470,975
無形固定資産		
のれん	1,471,173	1,343,649
その他	699,803	863,684
無形固定資産合計	2,170,977	2,207,333
投資その他の資産		
投資有価証券	2,244,639	1,896,876
その他	1,592,104	1,285,607
貸倒引当金	△13,211	△13,392
投資その他の資産合計	3,823,533	3,169,091
固定資産合計	6,533,672	5,847,400
資産合計	16,084,123	17,653,717
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,950	24,937
リース債務	31,416	26,068
未払法人税等	235,067	317,615
賞与引当金	391,225	348,549
その他	1,682,109	1,754,418
流動負債合計	2,373,770	2,471,589
固定負債		
長期未払金	66,498	98,334
リース債務	35,045	15,878
資産除去債務	26,818	49,224
繰延税金負債	―	125,284
固定負債合計	128,361	288,722
負債合計	2,502,132	2,760,311

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,812	978,478
資本剰余金	1,444,376	1,445,043
利益剰余金	14,101,568	15,132,930
自己株式	△3,438,187	△3,438,187
株主資本合計	13,085,570	14,118,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	507,138	776,781
為替換算調整勘定	△10,717	△1,640
その他の包括利益累計額合計	496,421	775,140
純資産合計	13,581,991	14,893,405
負債純資産合計	16,084,123	17,653,717

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	8,902,339	10,236,550
売上原価	1,392,605	1,425,153
売上総利益	7,509,733	8,811,397
販売費及び一般管理費	5,829,338	6,495,344
営業利益	1,680,395	2,316,052
営業外収益		
受取利息	16,036	10,720
受取配当金	30,000	36,374
投資事業組合運用益	1,243	－
持分法による投資利益	50,656	35,095
投資有価証券売却益	－	12,973
雑収入	8,645	12,146
営業外収益合計	106,582	107,310
営業外費用		
投資事業組合運用損	－	2,662
事務所移転費用	－	14,170
支払家賃	52,885	－
寄付金	130,000	－
雑損失	70,774	3,344
営業外費用合計	253,659	20,177
経常利益	1,533,317	2,403,186
特別利益		
関係会社株式売却益	－	58,122
貸倒引当金戻入額	10,000	－
特別利益合計	10,000	58,122
特別損失		
有形固定資産除却損	68,458	1,593
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,247	－
投資有価証券評価損	－	20,665
子会社設立費用	101,514	－
特別損失合計	174,220	22,258
税金等調整前四半期純利益	1,369,096	2,439,049
法人税、住民税及び事業税	669,310	813,851
法人税等調整額	△2,624	165,415
法人税等合計	666,686	979,266
少数株主損益調整前四半期純利益	702,409	1,459,782
少数株主利益	15,831	－
四半期純利益	686,578	1,459,782

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	702,409	1,459,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,101	269,642
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,515	9,076
その他の包括利益合計	35,586	278,719
四半期包括利益	737,996	1,738,501
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	722,164	1,738,501
少数株主に係る四半期包括利益	15,831	―

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年９月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	中途採用事業	新卒採用事業	教育・評価事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,022,144	620,244	176,941	8,819,330	83,009	8,902,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	8,022,144	620,244	176,941	8,819,330	83,009	8,902,339
セグメント利益又は損失（△）	2,357,918	△418,523	△24,833	1,914,561	△234,166	1,680,395

(注)１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない、エン・ウエディング及びFINEであります。
２．セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	中途採用事業	新卒採用事業	教育・評価事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,811,082	1,167,903	224,270	10,203,256	33,293	10,236,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	8,811,082	1,167,903	224,270	10,203,256	33,293	10,236,550
セグメント利益又は損失（△）	2,127,099	190,138	35,657	2,352,894	△36,842	2,316,052

(注)１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない、エン・ウエディング及びFINEであります。
２．セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。